

# 和地ひとみレポート No.201

玉川上水駅前の「ふれあい広場」

市が運営委託した法人が

4月から運営スタート

## ■ふれあい広場

…玉川上水駅の北側の東側の（交番と反対側）階段の裏手にある「ふれあい広場」は、平成27年1月22日にスタートした市の施設です。この施設は玉川上水駅前に新しくできた商業施設（カフェとコンビニエンスストア）の開業に伴い、市が一区画を借り上げたものです。この施設の設置の目的について市は「市内の観光案内及び情報発信並びににぎわいの創出や地域の活性化を図ることを目的に設置した」としています。

…市はこの施設の運営について、開設当初は様々な展示を行うなど市が直営していましたが、運営に関しては当初から委託することを念頭にしていました。

…市は市の情報発信などの設置目的の範囲内で、さまざまな活用についての提案を期待して、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間の運営者の公募を平成26年に実施。しかし、その際は応募者ゼロという状況でした。1度目の公募の反省を踏まえ、平成27年の年末に再度、市は運営者を公募。2回目の公募には民間の株式会社1社、NPO法人1法人、そして市民グループ1団体が説明会に参加しましたが、2回目も応募までには至りませんでした。

## ■年間約380万円

…この「ふれあい広場」に関して市は年間約380万円を支出しています。その内訳は施設の管理委託料が年間約200万円、施設の借り上げ料が年間100万円とのことです。では、上記の募集内容の条件はというと、公共的な事業を想定していることもあり、一般（≒民間）の賃料より格段に安価なもので、施設の広さ21㎡（ギャラリー≒店舗部分14.6㎡、控室4.4㎡、トイレ）に対し市の希望は月額3万円。応募者とは、運営内容などを踏まえたうえで、3万円以上の金額で検討することとなっていました。

…また、そのほかの応募の条件としては、開設時間は毎日6時間以上、年末年始以外は基本無休となっており、人の手配など完全なボランティア感覚でないと運営に手を挙げるのは難しいという声もあったようです。

…ちなみに、今年度の予算でも「ふれあい広場」の施設管理費は計上されていますが、歳入（収入）の方には賃料などの計上はなく、この点について予算特別委員会で確認をしたところ「運営業者が決定した時点で補正予算として計上する」との答弁でした。

…この「ふれあい広場」に関しては、『男女共同参画の川柳の展示』『平和パネル展』『スイーツウォーキン



グの一拠点』等として市は活用してきましたが、多くの議員が、地域の拠点、また、市役所などから遠い玉川上水駅の施設として、この「ふれあい広場」の可能性について期待した一方で、その実際の活用方法については工夫が足りないなど問題視し、議会などでも何度か取り上げられてきました。

## ■この4月から運営委託開始

…このように「ふれあい広場」は当初の市の目標どおりに活用されない状況が続いていましたが、この4月1日から特定非営利法人ワーカーズコープという法人が1年間の運営を行うこととなりました。

…この特定非営利法人ワーカーズコープは、全国組織の法人で、東京都内には5つの事業本部を束ねる統括事業本部（池袋）があります。東大和市の「ふれあい広場」の運営は、東京の多摩地域と山梨地域を管轄する東京三多摩・山梨事業本部（八王子）とのことです。…この東京三多摩・山梨事業本部は、訪問介護や通所介護などを中心とした地域福祉事業所、保育園や児童館・学童（指定管理業者として）や、障がい者支援の事業所など約30自治体で事業所を開設しているとのことです。

## ■ワーカーズコープとは

…『ワーカーズコープ』という言葉は耳慣れない方も多いと思いますが、これは一般名詞としてはWorkers（働く人の）のCo-operative（協同組織、協同組合）つまり労働者協同組合、あるいは協同労働と言われています。これは、一般の企業などでの就労のように雇う、雇われるという関係で働くのではなく、労働者が資金と労力を出し合って（主として公益性・社会性が高い）事業をおこない、労働者が自ら経営に参画し労働に従事し、収益を分配するということとのこと。その事業も、地域で生まれている問題や課題を地域や市民と一緒に解決していくための運動を進め、それを事業として立ち上げるという活動をしているとのことでした。具体的には子育て関連の事業、障がい者や生活保護受給者の自立支援事業（相談、仕事づくり）、高齢者の介護事業などのほか、公共施設や病院などの施設管理（清掃業務など）や食農事業なども行っているようです。（裏面に続く）

…今回「ふれあい広場」の運営を受託したことにより、特定非営利法人ワーカーズコープは初めて東大和市で活動をするようになりましたが、東村山市では保育園の運営（指定管理）業務や障がい者支援の事業所を運営。また、立川や小平では児童館、学童保育所の運営（指定管理）、病院やビルの清掃業務を請け負うなど、行政の業務の請負や関連性の高い事業の請負業者として事業展開をされています。

## ■では、東大和市では

…特定非営利法人ワーカーズコープは東大和市では「ふれあい広場」の運営を行うわけですが、実際にはどのようなことを行うのかについて、特定非営利法人ワーカーズコープからは以下の説明がありました。

（特定非営利法人ワーカーズコープからの書面、原文のまま）

～ふれあい広場は「地域の人と情報が集まり、地域と人の魅力を発信し、交流する場」と考え、以下のことを運営の中心にしていきます。～

- ① 東大和市の魅力を、地域・市民や周辺地域に伝えていきます。
- ② 地域の活動団体・グループ・個人のイベントなどの情報を集め、発信し、交流してにぎわいを広げていきます。また、駅前広場の活用を含めた「にぎわい企画」を地域の方たちに提案し、協力して進めていきます。
- ③ ふれあい広場の運営と合わせて、ワーカーズコープの活動を地域で広げ「仕事おこし」へとつないでいきます。

以下の企画、活動を進め、広報につとめます。

- ① 「ふれあい広場」を活用して、「ちいさな写真館」「絵画展」などの場を市民や関心ある人たちに提供します。
- ② 物産品の紹介と販売をすすめます。また、ワーカーズコープのつくっている物産品や出版物なども紹介・販売します。
- ③ 一般社団法人「社会連帯機構」に加盟しています。社会連帯機構が進める被災地支援の一環として、被災地の状態をご紹介し、あわせて支援の呼びかけも致します。
- ④ 要望の多い地元農産物の直売は、準備を進めながらすすめていきます。
- ⑤ 「子ども食堂」が話題を呼んでいます。東大和市でも6月26日（日）東大和市立中央公民館で「巡回食堂・困りごと相談」を開催することになりました。ご協力をよろしくお願いします。来年10月まで15市で24回の開催を予定しています。

⑥ 食廃油回収の活動をすすめ、回収ボックスを設置します。回収した「油」はわたくしどもの工場で精製して、バイオディーゼル燃料をつくり、ディーゼルバス、トラック、発電機に供給しています。また、菜の花ネットワークをも協力し、環境に負荷を与えない「油」づくりをすすめていきます。

⑦ 地域の方たちと協力して、それぞれの地域課題を話し合う「地域懇談会」を開催していきます。

⑧ 協同・連帯・仕事おこしをテーマにした「協同集会」を本年秋に開催し、活動と人のつながりを、さらに強めていきます。

これから1年間、どうぞよろしく願いいたします。

…市が考える「ふれあい広場」の設置目的とは、少々かけ離れた取り組みの部分もありますが「にぎわいの創造」という点は一致していると思います。実際に「ふれあい広場」に行くと、設置されている情報のほとんどが行政のパンフレットやチラシ、観光マップなどで、ワーカーズコープ関連の資料は一部という状況でした。また、特定非営利法人ワーカーズコープの企画や活動の内容を見ると、1年という運営受託で実現するのかどうかというものもあります。おそらく市は、市民自らが地域の問題解決となる活動を起こす拠点＝市民協働の拠点としたいという二次的な目的も考えて委託をしたのではないかということも考えられます。

## ■新たな取り組みだけに

…ワーカーズコープのパンフレットでは『「協同」とは、『力を合わせ、助け合い、支えあって共に働くこと』。『協同労働の協同組合』は【出資】【経営】【労働】を“三位一体”で組合員全員が担いあう協同組合です』と書かれ、さらには「1口5万円の出資で組合員になることができますが、事業の運転資金としては最低でも2～3か月分の資金が必要となります。このことから組合員一人ひとりが自分の給与の2か月分以上を目標に2口目以降の出資をする『増資運動』に取り組んでいます。」と書かれています。一般の雇用関係ではない働き方ですので、何か新たな事業を市民グループなどがスタートしようとなった際に、このようなことがしっかり理解されていないとトラブルになるのではないかと懸念も持ちました。

…1年という期間でどこまで進むか難しいところですが（運営委託を更新するかは不明）、市も関わっていることですので、「ふれあい広場」が良い取り組みの場となるように、委託した法人と市は連絡を密にして、新たに設置した施設が市民に良い形活用されるようにしてほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」  
【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102